

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970300152
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム 安芸
訪問調査日	平成21年2月17日
評価確定日	平成21年5月14日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970300152		
法人名	(福)ふるさと自然村		
事業所名	グループホーム 安芸		
所在地 (電話番号)	安芸市川北甲1812-15 (電話)0887-35-8010		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年2月17日	評価確定日	平成21年5月14日

【情報提供票より】(平成21年 1月 1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	13人	常勤12人(内兼務10名), 非常勤1人, 常勤換算9.1人	

(2)建物概要

建物形態	(併設) 単独	(新築) 改築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	5 階建ての	階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(2月 1日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名	
要介護1	1名	要介護2	9名			
要介護3	6名	要介護4	2名			
要介護5	名	要支援2	名			
年齢	平均	86.3歳	最低	78歳	最高	94歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	かがみ診療所、南国中央病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ケアハウス、デイサービスが併設された建物の2階部分にあり、窓からは海が見え、近くに畑が広がる郊外のゆったりとした雰囲気と清潔感のあるホームである。開設当時の職員も多く、利用者が何をしたいか、どう過ごしたいかの把握はできている。利用者の表情が穏やかで、「ここは、いいところ。」と言う声も聞けた。ホームは地域の災害避難場所に指定されており、そうした面からも地域に根ざしたホームになりやすい。また、重度化への対応など今後の課題はあるが、管理者はじめ職員がケアに対し前向きな姿勢であり、今後の発展に期待の持てるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 改善計画シートを作成し、出来ることから改善しようとする姿勢がうかがえる。ホーム便りの発行、アセスメントシートの改良、個人記録の書き方など、改善に向けて取り組みを始めている。また、重度化・終末期ケアへの対応、家族会設置などは、種々の環境を整えるための準備期間が必要なので今後も継続して取り組むことを期待したい。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者はじめ職員全員で自己評価に取り組み、改善点について話し合いも行われており、今後の取り組みに期待が持てる。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所から行事や利用者の状況を報告し、参加者からの質問、要望に答えるなど双方向的な会議になっている。市の介護保険課、地域包括支援センターからの参加もあり、行政からのアドバイスが聞ける仕組みとなっている。また、民生委員の参加により地域の情報収集ができるなど、グループホームと地域との結びつきを大切にする取り組みが行われている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族会は現在設置されていないが、家族の意見、要望等に関するアンケートを現在検討中である。苦情への対応状況は記録されており、今後のケア向上へ繋げる努力をしている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町内会へは加入していないが、地域行事へ参加していく努力はしている。また、ホームが地域の災害避難場所の指定を受け、防災訓練に地域住民の参加もあり、地域との接点はある。今後、ホームから地域活動に積極的に出かけ、地域に根ざしたホームとして発展するよう期待したい。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域の中で人とふれあひながらのグループホーム」を掲げた事業所独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 毎朝の申し送り時など、必要に応じて話し合いの機会を持ち、意識づけを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 職員が笑顔とやさしさで寄り添い、利用者一人ひとりの生活を大切にすする支援が行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 町内会の加入を検討しているが、現在は加入していない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地元の小学校の運動会、産業祭り、タートルマラソンの見学など、接点を持つ努力はしているが、自治会や地域行事への参加はできていない。なお、ホームが災害時の避難場所に指定されており、年1回の防災訓練に地域住民の参加がある。	○	近所に住宅地が少なく、地域との接点を持ちにくい環境にあるが、事業所には地域の一員として地域活動に参加していくことが求められている。事業所での防災訓練には地域の住民が参加しており、今後、地域の行事の情報収集を積極的に行い、ホームから地域へ出向いていく活動を期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 ミーティングで職員の意見を聞き全員で自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善計画を立て実行可能な課題から取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>運営推進会議は、ホームの運営等に関して様々な角度から議論が行われ、双方向的な会議となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>課題について運営推進会議に報告し、出来ることから改善に取り組んでいる。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>ホームが安芸市指定の避難場所になっており、防災面で協力体制や交流がある。また、市の介護担当窓口にはホームの実情を伝えるなど交流を図っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族が訪問しやすい雰囲気があり、面会者は多い。来所時には利用者の状況について話し合っている。</p> <p><input type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>利用者個別のお便りはなく、希望者に写真を渡すなどしている。なお、現在、担当制を活かしたお便りの発行について検討している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p>利用者の状況等に応じ、電話連絡をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>家族の来所時に金銭出納帳の確認をしてもらっている。また、来所できなかった家族には郵送で報告している。</p>	○	<p>ホームでの暮らしぶりや、利用者のほのぼのとした表情やしぐさなどを家族に知らせることで、事業所との信頼関係が一層醸成されるので、現在検討中の「お便り」が早急に実現することを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会はない。家族からの意見、要望を聞くアンケートの検討がなされている。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 苦情対応の記録や課題の検討を行うなど、今後のケアに活かす取り組みをしている。	○	家族からの意見、要望は今後のケア向上に役立つものであり、家族が気軽に意見が言える仕組みづくりが必要である。家族からのアンケートのほか、家族同士の集まりの場づくりの検討も期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 管理者、計画作成担当者は開設当初から従事しており、また、職員の異動は少なく、馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取し、スムーズに移行できるように配慮している。 利用者の状態に応じて十分な引き継ぎ期間をとる配慮をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の年間計画が作成され、法人主催の内部研修や外部研修を受ける機会はあるが、参加者が少なく、一部職員に偏る傾向がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 職員会、ユニット会で報告が行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 法人として、全国グループホーム協会、高知県宅老所、グループホーム連絡会に加入している。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 法人内部のグループホーム間での交流はあるが、地域の同業者との交流はない。なお、地域の同業者との交流について準備している。	○	現在、安芸市の他のグループホームや小規模多機能型ホームとの交流会の準備が進められており、その実現と交流が深まることを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>ケアマネからの情報やサマリーのほか、事業所でのアセスメントにより、本人、家族等の意向の確認をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者とケアマネと一緒に面接を行っている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>職員が利用者と一緒に居室や廊下の掃除をしたり、洗濯物干しや洗濯物たたみなど、利用者が出来る事を大切に、お互いが協働しながら生活している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>野に咲く草花と一緒に摘み共に季節を感じたり、不安を感じて落ち着かない時は、マンツーマンで話を聞き、利用者の思いを感じ取り、不安を取り除くように努めている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>声掛け時の表情や仕草から意向をくみ取ったり、家族などから情報を得るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>面会時や電話などで意見、要望を聞き介護計画を作成している。また、計画には家族の確認印又はサインをもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>月1回モニタリングを行い、3ヶ月毎にカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p>3ヶ月毎に見直しを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>利用者の状態変化が生じた場合には、2週間から1ヶ月で見直すなど、個別の対応が行われている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。</p> <p>人工透析やホルモン治療が必要な利用者は、協力医療機関の医療処置を受けながら、ホームで生活できるよう支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。</p> <p>利用者の状況に応じて通院に同行している。また、自宅への立ち寄りやその近辺の散策など、柔軟な支援が行われている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>月2回の往診のほか、本人、家族が希望する医療機関で治療を受けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p>状況に応じて通院に同行している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>受診結果について個別に記録している。また、申し送りノートにより情報を共有している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>指針は定めていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>今までに、終末期のあり方について、家族、医師、看護師、職員で話し合いを行った事例がある。</p>	○	事業所として、終末に対する対応指針を定めることが期待される。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>本人を傷つけたり、尊厳を損なうことのないよう配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関することを話さないことを徹底している。</p> <p>プライバシー保護の誓約を交わし徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>日々の申し送りやミーティングなど、折に触れて話し合いをしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者の意向にそって毎朝9時のラジオ体操を日課にしたり、予定外に買い物希望があった場合でも、職員が随時対応するなど柔軟な支援が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 食事をゆっくり摂る利用者には、せかすことなく気長に応じるなど、利用者のペースを大事にするよう支援されている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 調理の下ごしらえ、お茶入れ、下膳など、利用者の出来る事を大切にしながら支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。同じテーブルで同じものを一緒に食べ、必要に応じさりげなく食事の介助をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 利用者の希望により夜間入浴も出来る勤務体制になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 入浴を拒否する場合は、家族からの声かけの協力も得るなどして支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食材の調理方法を習ったり、手製の布製の魚や釣り竿で魚釣りゲームを楽しんだり、小さな着物を縫って壁飾りにするなど、利用者の特技を活かす取り組みをおこなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 洗濯物や箒、塵取りを作業しやすいよう決まった場所に置き、利用者一人ひとりの役割が日々の生活のなかで発揮できるよう配慮をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの理髪店、顔なじみになった喫茶店に出かけるほか、自宅の近辺に行くなど、日常的に外出を支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 利用者の状況に応じ、車椅子、シルバーカー、杖を利用した外出支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 車や徒歩でスーパーに買い物に行ったり、コスモス祭りなどの季節の花見やドライブにも出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者は、2ユニット間で自由に行き来ができるようになっており、職員同士が連携し、利用者全員の外出習慣等の特性を把握し、安全に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえらる関係を築いている。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 利用者の居室は2階にあり、1階出口には事務室があって、ホーム全体としての見守り、声掛けや連絡が出来る体制にある。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 事業所が災害時の避難場所として指定されており、年1回、消防署や市と協力して耐震車体験や地震災害訓練が行われ、地域住民も参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器等の定期的な点検を行うと共に、地域の避難場所として十分な非常用食料や備品が備蓄されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事、水分の摂取量をチェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の嗜好や季節の食材を使用し、バランスの良い献立を採り入れている。 <input type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 最近では栄養士や保健師のチェックは受けていない。	○	栄養管理面の専門的なチェックは健康面の支援からも重要であるため、併設関連施設の栄養士に定期的にチェックしてもらい、アドバイスを受けることが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 一般家庭の雰囲気のある家具を配置し、利用者にとって居心地の良い共用空間になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 手作りの布製の魚や小さな着物など、家庭的な雰囲気のある飾り付けになっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 菜の花や桃の花を活け、折り紙や段飾りのお雛さまを飾り、季節感を採り入れた工夫をしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 使い慣れた筆筒、読み込んだ本、鏡台、冷蔵庫、TVなど、生活感のある居室がある一方、押し入れにすべて収納し、何も置かないようにしている居室もある。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。 居室のあり方は個人差があるが、家具等を置かない場合でも、利用者の好きな花、動物、風景、家族の写真などを壁に貼るなど、家族の協力を得て、使い慣れた小物を持参してもらうなど、その人らしさや生活感を感じる居室づくりについて、工夫が望まれる。		